

地域再生計画（污水処理施設整備交付金）事後評価調査

都道府県名	岩手県	事業実施主体	岩手県滝沢市	地域再生計画名	滝沢市「人と自然が共栄し、生き生きと幸せ輝くたきざわ」再生計画その2
計画期間	平成22年度～平成26年度	評価責任者	岩手県滝沢市上下水道部長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	污水処理施設整備の円滑な促進（污水処理人口普及率を72.6%から81.0%に安定的に向上する。）	72.6	H20			81.0	H26	80.5	○	污水処理施設交付金の活用により公共下水道事業及び浄化槽設置補助事業が推進され、目標値を概ね達成することができた。
	指標 2	水がきれいな住環境づくり（市内6河川8地点の平均BODを1.35mg/L以内を目指す。）	1.55	H20			1.35	H26	0.90	○	公共下水道事業及び浄化槽設置補助事業の効果として、生活排水の改善が図られ目標を達成することができた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度（H）	最終実績						
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業（整備延長）		1,150m		798m	整備量は計画を下回った。					
	個人設置型浄化槽整備事業（整備基数）		240基		239基	整備量は順調に推移し、ほぼ計画を達成することができた。					
その他の事業											
計画外で独自に実施した事業											
④評価方法	滝沢市上下水道事業経営審議会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。										
⑤事後評価の公表方法	滝沢市下水道課のホームページに掲載										
⑥計画全体の総合評価	污水処理施設整備交付金を活用し、公共下水道及び浄化槽を効率的に整備することができた。公共下水道整備延長は計画を下回ったが、数値目標である污水処理人口普及率、市内河川の平均BODのどちらも最終目標値を概ね達成することができたことから、事業実施の効果はあったものと考えている。										
⑦今後の方針等	着実に污水処理人口普及率が増加しており、公共水域の水質の保身を図る観点からも、引き続き下水道事業及び浄化槽設置整備事業を推進していきたい。										